

たすけあいの仕組み ～トークサロン地域の方との語らいの場～

町会・自治会

民生・児童委員

主任児童委員

外国人支援団体

学習支援団体

商店街関係者

更生保護関連団体

大学教員

社会福祉法人

NPO法人

ボランティア



蒲田西地区では地域の方との語り合いの場としてトークサロンを実施し、外国にルーツのある住民への支援や地域活性化等について話し合いが進んでいる。地域福祉Coが関わる個別ケースもメンバーの協力のもと進めており、個別支援と地域支援の一體的展開を模索している事例である。

目次

- 1
- 2
- 3
- 4
- 参考

たすけあいプラットフォームの背景

蒲田西たすけあいプラットフォーム・
トークサロンのはじまり

具体的取り組み

見えてきたこと・これから

他地区での取り組み

I. たすけあいプラットフォームの背景

地域共生社会の実現に向けて

ある社会がその構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合、それは弱く、もろい社会なのである

1979 年の国際障害者年行動計画の一文



目指すべき社会

すべての人に優しい社会

【排除のない、個人の尊厳や多様性が尊重された、ともに生きる豊かな強い社会】

→そのためにはまずつながり、孤立を防ぎ、支え合うための
仕組みづくりが必要！

I. たすけあいプラットフォームの背景

たすけあいプラットフォーム事業の説明

地域課題を共有・協議する場

たすけあいプラットフォーム事業

大田区社協ホームページより

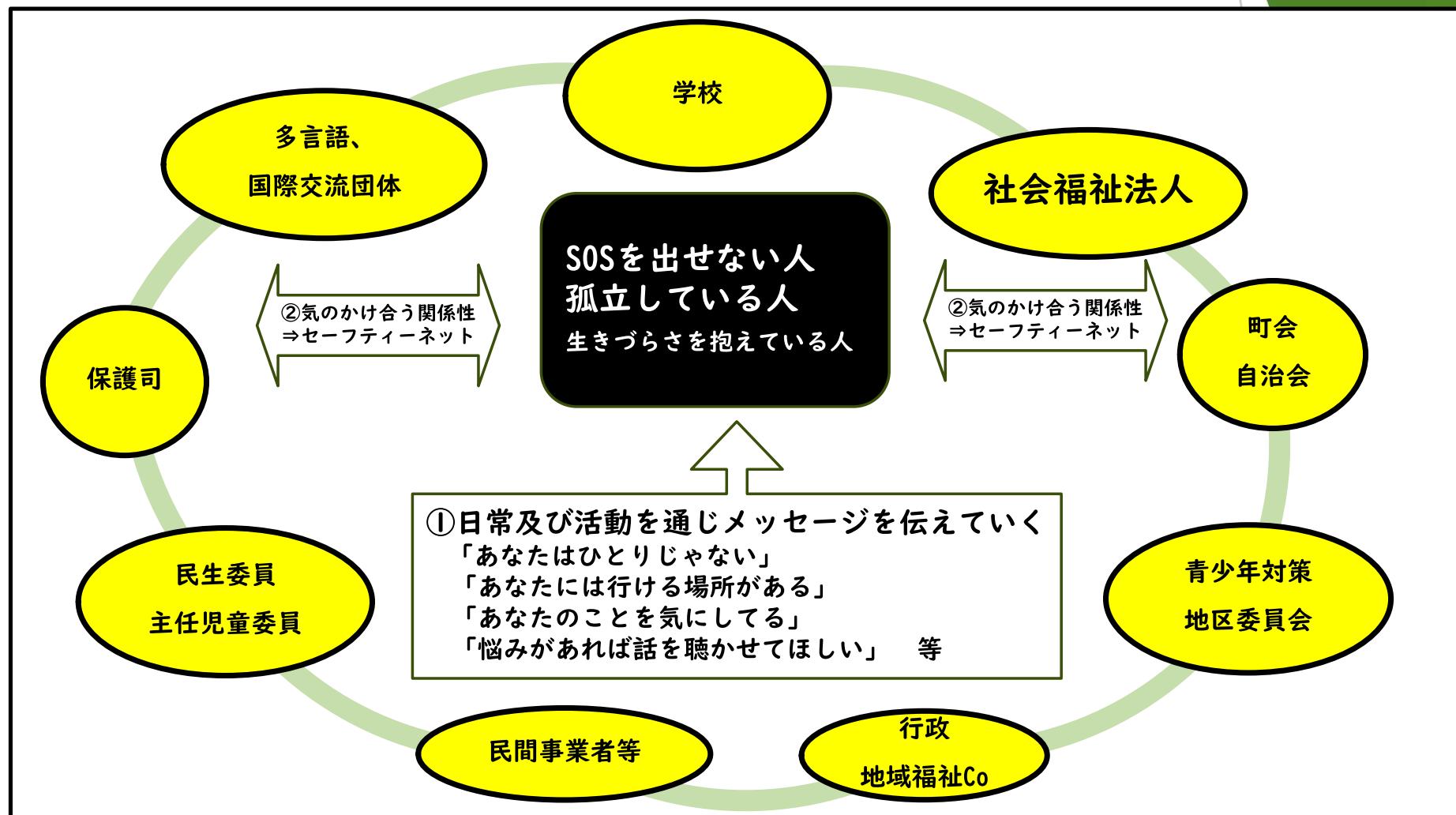
地域の福祉課題が複雑化・深刻化する中、ひとつの団体だけでは解決できない困難な課題の壁があります。この壁を乗り越えるためには、地域住民、行政、社会福祉法人、区民活動団体、専門家などの関係機関（者）がそれぞれの強みを活かし、連携して解決に取り組む必要があります。

しかし、それぞれが考える課題や連携への理解に相違があるままで、連携・協働はうまく進みません。そこで、社会や課題の変化を把握し、地域の福祉課題を共有・協議の場（プラットフォーム）づくりに取り組んでいます。

※プラットフォームとは、基盤・基礎・土台という意味のほかに、「みんなが乗る舞台」という意味があります。多様な主体が、自発的に対等な立場で参加する場を地域のみなさまと一緒につくっていきます。

I. たすけあいプラットフォームの背景

たすけあいプラットフォームでのささえあいのイメージ



I. たすけあいプラットフォームの背景

たすけあいプラットフォームの展開イメージ

地域にある課題・心配事をキャッチ



様々な立場の人が集まり、地域課題を共有・協議し、
解決に向けたアイデアを出し合う



地域でできる活動を生み出す

2. 蒲田西たすけあいプラットフォーム・トークサロンのはじまり

蒲田西たすけあいプラットフォームがはじまった経緯

地域の皆さんと協力して取り組むために、大事にしたいこと

- ・地域住民等の声を拾う
- ・地域住民等との対話により共通の価値観を共有し、結びつきを強める
- ・誰でも参加できる開かれた場の設定
- ・楽しく安心できる場の設定

具体的取り組み

蒲田西たすけあいプラットフォーム事業
トークサロン～地域の方との語らいの場～

2. 蒲田西たすけあいプラットフォーム・トークサロンのはじまり

蒲田西たすけあいプラットフォーム・トークサロンが生まれるまで

- ① 蒲田西たすけあいプラットフォーム
(令和元年12月～令和3年11月)

蒲田西地区の様々な地域の福祉に携わる団体の皆さんや関心のある方が、
フラッと参加できる、地域の話し合いの場として、全7回開催
開催毎にテーマを設定しグループワークを実施

【参加者】地域包括支援センター、行政機関、自治会・町会、民生委員、地域活動団体、社会福祉法人、民間企業 他

- ② プレミーティング
(令和5年11月)

①蒲田西地区の福祉ニーズ把握（支援の困りごと等）、予防的活動に向けた地域住民との協働の検討と専門職のネットワークの形成
②蒲田西たすけあいプラットフォームにて皆で取り組める予防的活動等のテーマを企画

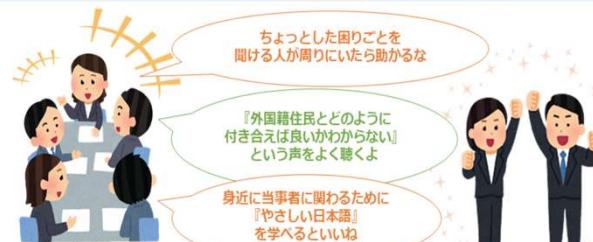
【参加者】レガート（外国籍住民支援団体）、地域包括支援センター、行政機関、精神障害者相談支援事業所、生活困窮者自立相談支援機関、民生委員 他

- ③ 蒲田西たすけあいプラットフォーム（令和6年2月）

【参加者】蒲田地区住民、自治会・町会関係者、民生委員、社会福祉法人協議会（蒲田地区）の対象法人 他

■ 誰もが孤立しない地域づくりに向けた話し合い：外国籍住民への関わり・支援

関係機関によるプレミーティングでは、外国籍住民について話題があがりました



蒲田西たすけあいプラットフォームで
多文化共生について話し合いましょう！

2. 蒲田西たすけあいプラットフォーム・トークサロンのはじまり

蒲田西たすけあいプラットフォーム・トークサロンの始動

令和6年度

蒲田西たすけあいプラットフォーム
トークサロン～地域の方との語らいの場～

プラットフォームの企画・運営に興味のある方を中心に展開
地域課題を共有・協議し、解決に向けたアイディアを出し合
い、地域でできる活動を生み出す。地域での孤立を防ぎ、支
え合う仕組みづくり、地域づくりを行う



3. 具体的取り組み

蒲田西たすけあいプラットフォーム・トークサロン出てきた話題

- 児童、高齢、障がい、外国籍など分野を問わず住民同士で交流出来るイベントを催すのはどうか
- 子どもの安全、見守りのためにも商店街を活気づけていきたい
- 地域の中で孤立している住民がいること、その方に寄り添う地域住民が必要なこと
- 外国籍住民との関わりについて
(外国籍住民の特有の課題、学校などが外国籍住民に情報を発信していく際の工夫、他県での取り組みの共有など)
- 学校との連携について ○居場所づくりについて
- 地域に住む課題を抱える世帯へ、メンバーが出来ることについて

3. 具体的取り組み

メンバーで共有した個別事例

○世帯概要

- ・ネパール国籍の母子世帯（母、子2人）
- ・親族は皆母国に在住、頼れる人が不在であった
- ・本人（母）は日常会話は流暢に話されるが、複雑な話になると理解が難しい部分がある

○相談の経緯

- ・子が通う学校⇒主任児童委員⇒地域福祉Co
民生委員



3. 具体的取り組み

○本人(母)の思い

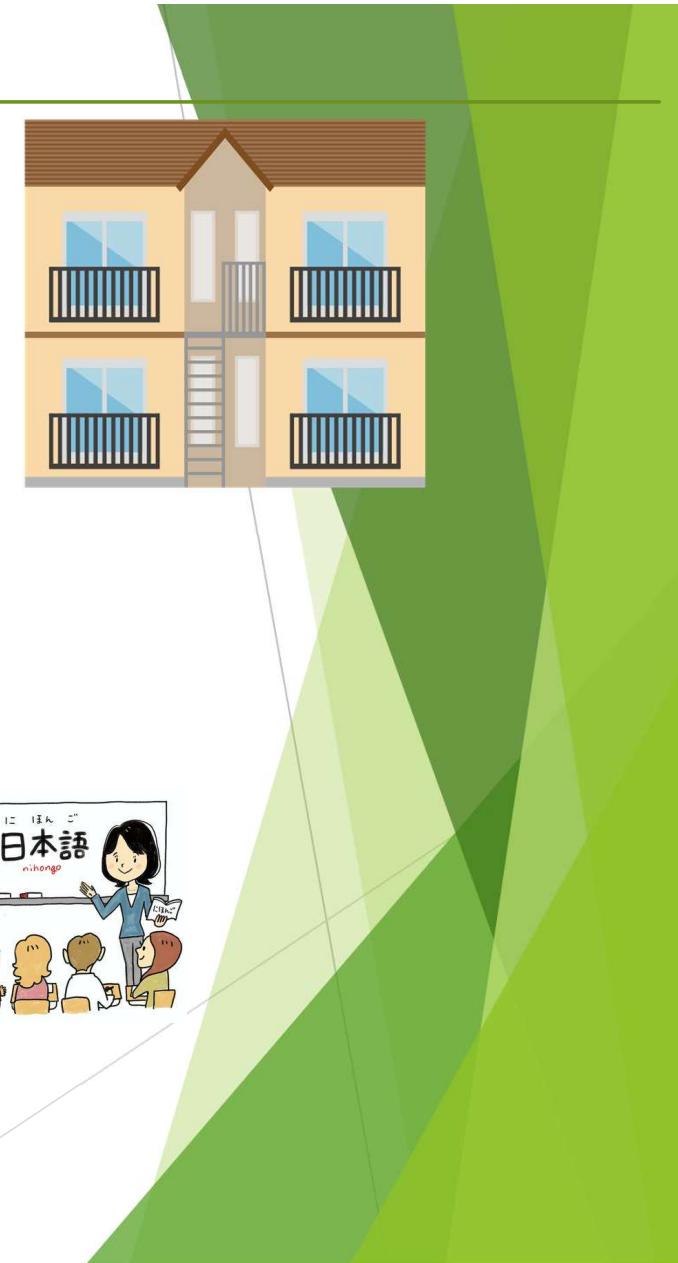
- ・環境を変えて、自立した生活をしたい
- ・今より安い家賃の所へ転居したい
⇒外国籍では入居出来ない物件も多い
- ・住宅に関する支援制度を受けたい



本人と話を重ねていくと…

○本人(母)の新たな希望や悩み

- ・親子3人で通える日本語教室を紹介して欲しい
- ・子どものことが心配



3. 具体的取り組み

○蒲田西たすけあいプラットフォームメンバーの関わり

①アパート探し

相談から不動産屋への同行等（市民福祉団体全国協議会）

住宅要配慮者の民間賃貸住宅
への入居支援等を行う団体

②親子で参加できる日本語教室

独自で行っている事業をご案内（一般社団法人レガートおおた）

外国籍住民支援団体
(翻訳・通訳、日本語教室、国際都市おおた協会
多言語相談窓口受託、オンライン相談窓口等)

③手続き等の支援

入居に必要な書類の準備や記入等（多言語相談窓口）

④ちょっとした困りごとについて

JICAや国連平和維持活動の従事経験有

外国での活動経験をふまえた相談・対応（蒲田西口商店街振興組合理事長）

⑤専門機関のみでは難しい、日常における支援

子ども、生活に関すること（民生児童委員、主任児童委員）

3. 具体的取り組み

○現在と今後

①アパート探しについて

入居先が決まり、現在手続き中

②住宅に関する支援制度について

転居後に地域福祉Coが同行して手続きを行う予定

③親子で参加できる日本語教室について

希望に合った日本語教室の情報提供を行った

④子どもについて

本人（母）の気持ちを聞きながら、引き続き出来ることを行っていく



3. 具体的取り組み

○本人との話の中で気づいた大切なこと

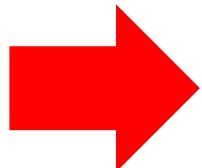
- ①本人の「大丈夫」の言葉に安心するのではなく、
寄り添った声かけが必要
⇒「分からない」中で生活する不安や大変さ
- ②関係機関につながっていても、本人の困りごと全般の解消には至らなかった
⇒包括的な受け止め、トータルコーディネート、伴走型支援が必要
- ③異なる文化や価値観を相互に大切にし、尊重した関わりが必要



4. 見えてきたこと・これから

活動を通じて見てきたこと

- ・個人を支えるためには地域の方とのつながりづくりが必要
- ・様々な人の関わりにより、
専門機関だけでは気づけなかった部分に気づくことができた



個と地域の一体的支援が重要

4. 見えてきたこと・これから

蒲田西たすけあいプラットフォームのこれから（参加メンバーより）



今後は学校とも連携しながら、福祉との関わりがあまりない中学生等の支援についても考えていき、また自分の経験も伝えていきたいと思っています

蒲田西口商店街振興組合
理事長 森田さん

これまでの話を生かして、外国籍の方や子ども達等、いろいろな人が包摂された楽しい交流の場が実現できると良いと思っています



蒲田西地区民生委員児童委員
和久さん

4. 見えてきたこと・これから

これから

- 蒲田西たすけあいプラットフォームでできた協力関係を大切にし、深めながら、支援の輪を広げ、多くの人々が共に協力できるように進めていく

- 地域課題を共に考え、解決に向けたアイデアを出し合い、その実現を目指した地域活動を創出していく

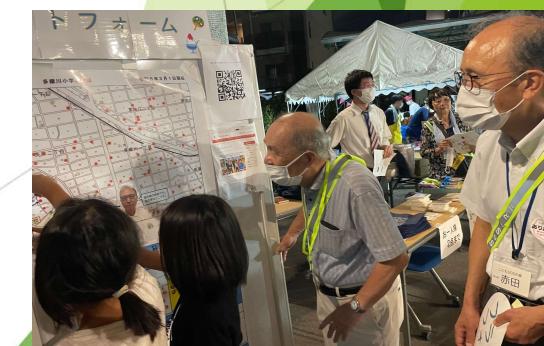
参考. 他地区での取り組み

I 矢口たすけあいプラットフォーム

<令和6年度の活動>

【参加者】 自治会・町会関係者、民生委員・児童委員、青少年対策地区委員会、区民活動団体、高齢・障がい者施設、地域包括支援センター、多摩川小学校、スクールソーター

- ◆ 企画会（今年度3回実施）
取り組みの検討、意見交換、情報共有など
- ◆ 「こどもSOSの家」の周知と住民ニーズの収集活動
@福祉施設いづみえん納涼祭
- ◆ 多摩川小学校との連携
拡大学校運営協議会、未来づくり研究授業、学習発表会への参加



参考. 他地区での取り組み

2 六郷みんなの居場所プロジェクト

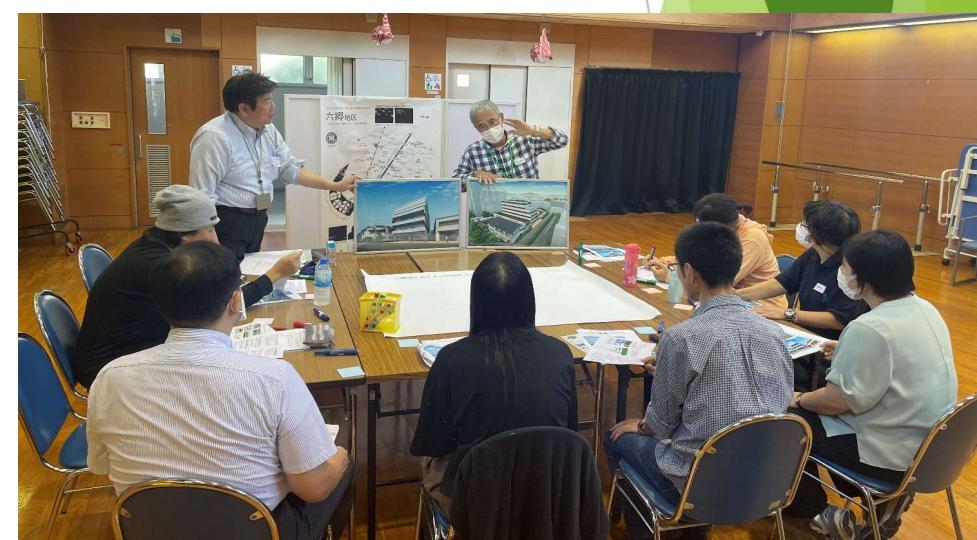
<令和6年度の活動>

六郷地区で困っている人が孤立しないよう支え合うため、みんなで話し合いを続けています

【参加者】 自治会・町会関係者、民生委員・児童委員、六郷地区の社会福祉法人、
地域福祉コーディネーターが関わりのあった地域住民

様々な経験や事情を持つ地域住民が自分の考えや
思いを話し、それを受けメンバーがそれぞれの価
値観を共有し、互いに受け止め合い、会話が広
がっていった。

この話し合いにより、お互いの存在を知り、身近
に頼れる存在がいることや、様々な経験や事情を
持つ住民がいることに気付く機会となった。



すべての人に優しい社会を 一緒に創りましょう！

蒲田西たすけあいプラットフォームに是非ご参加ください！

【蒲田地区地域福祉Co 内藤 清水 石川 黒田】

